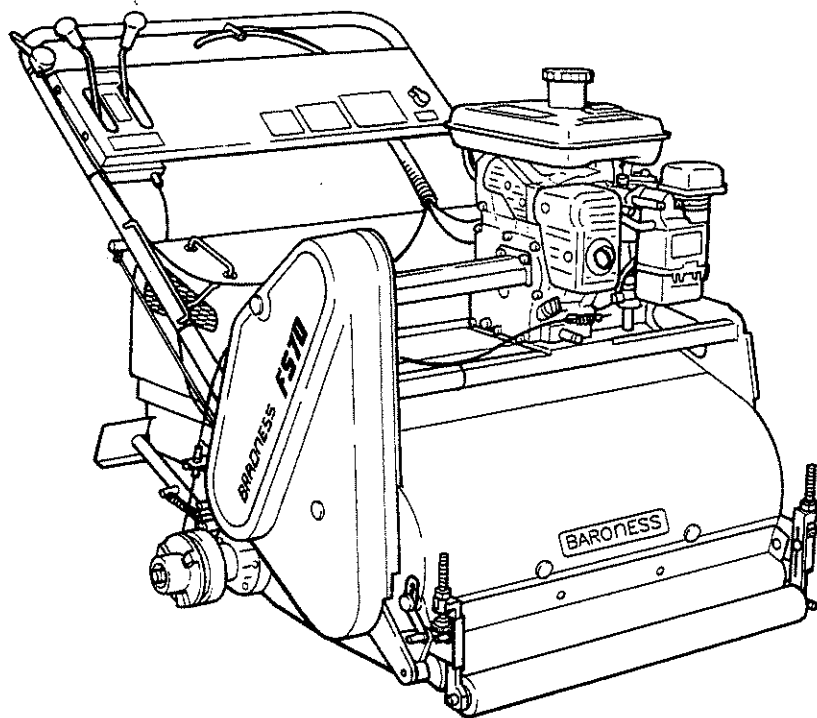


グリーンスーパー
FS70

BARONESS

バロネス管理機


【10036号機～】 '02.4～



取扱説明書 & パーツカタログ

“必読” 機械の使用前には必ず本書及び
エンジンの取扱説明書をお読み下さい。

安全に関する警告について

本機には、印をつけた警告表示ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告表示について



その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあるものを示します。

記号



----- 注意マーク



----- グリース



----- 取扱説明書参照



----- 高温面
手または指のヤケド



----- ガソリン



----- ベルトに手や指の
巻き込まれ注意



----- ジョイント軸
注意マーク

ごあいさつ

このたびは、パロネスグリーンスーパーFS70型をご購入いただき誠にありがとうございます。

本書は、グリーンスーパーの正しい取り扱い方法と調節、点検方法について説明してあります。ご使用前に必ずこの取扱説明書および別冊のエンジン取扱説明書をよく読み、本機の性能を充分理解した上で、安全にそして効果的にご愛用くださるようお願い申し上げます。

=ご注意=

- ◆ 本機のお問い合わせの節は形式が順次変わっている場合がありますので、機械番号を合わせてご通知下さるようお願いいたします。
- ◆ 本書記載事項は改良のため予告なしに変更することがあります。



1. この取扱説明書や機械に使用されている警告表示ラベルは、安全確保のための説明が書かれていますので、注意して読み充分理解してください。
2. 操作手順や安全注意事項をよく理解してからこの機械を運転してください。
3. マークや説明文はきれいに保ち、なくなったり損傷があった場合には、新しいものに交換してください。

ラベル貼付位置図

K4205000650

▲ 注意
(クラッチ)
テンションクラッチは作業
面に入。それ以外の所
は必ず切っておいて下さい。
K4205000650

K4205000870

▲ 注意
風草屑を取り外す時、足の上に落
とさないようにして下さい。
スタンドを立てて置する時、パネの
力で降り定に当たる危険あり、足
元に注意して下さい。K4205000870

K4205000630

▲ 注意
取扱上の注意
この機械を運転する前に取扱説明書を熟読し十分機
械の操作を理解してから運転して下さい。
危険・警告・注意等ラベルの指示にしたがって行動
しないと死傷又はケガをする結果となります。
マークやラベルの説明又はきれいに保ち、黒くなったり損
傷があった場合には、新しいものに交換して下さい。
K4205000630

K4205000730

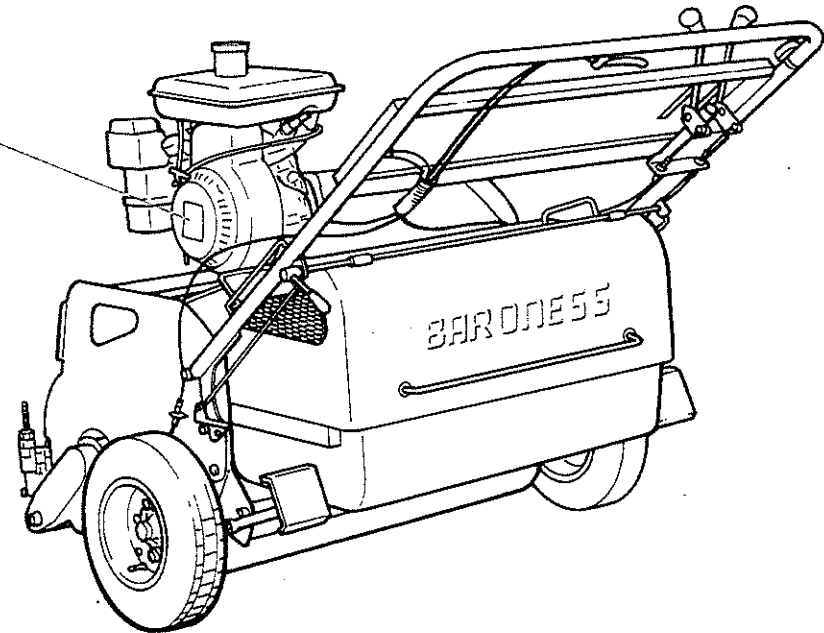
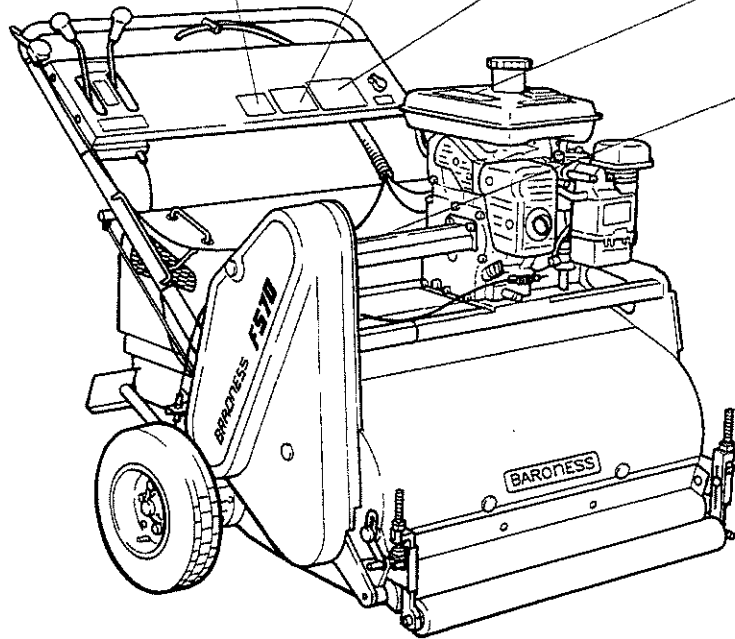
▲ 注意
本機は使用条件が過酷な為に、エンジンオイル交換は、初回5時間使って全量交
換し、次からは5時間後に減った分を補給し、10時間使ったら全量交換して下
さい。その後は、5時間毎に点検、補給を続けながら25時間毎に交換して下さい。
更に埃の多い場所では短時間に交換して下さい。エアークリーナには油霧線
迄オイルを入れ、布のクリーナカバーをかぶせ、クリーナオイルを常時点検し、
汚れたら新しく交換して下さい。
K4205000730

K4205000810

▲ 注意
動力作動中は回転物に
触れないで下さい。
ジョイント・軸・注意
K4205000810

K4205000540

▲ 注意
リコイルスターター
空気吸入口防護網に
埃が付着するとエン
ジンのオーバーヒ
ートの原因になりま
すから、作業中時々
埃を取り除いて下さ
い。
K4205000540







目次《取扱説明書》

安全に関する警告について	2
ラベル貼付位置図	3
目次	4
1. 安全作業のための注意事項	4
1-1 使用上の注意事項	4
1-2 安全作業について	5
2. 各部の名称	6
3. 特長	7
4. 仕様	7
5. 使用前点検	7
5-1 エンジンオイルの点検	7
5-2 エアクリーナの点検	7
5-3 燃料の点検	8
5-4 タイヤの点検	8
5-5 Vベルトの点検	8
5-6 ワイヤの点検	8
5-7 ボルト・ナット類の点検	8
6. 操作	8
6-1 エンジンの始動・停止	8
6-2 スタンドの立て方	9
6-3 ブレーキレバーの操作	9
6-4 クラッチレバーの操作	9
6-5 車輪の着脱	9
6-6 バケットの着脱	10
7. 調節および交換	10
7-1 ベルト張り調節	10
7-2 ブレーキ調節	10
7-3 板ブラシの交換	10
7-4 ブラシの調節	11


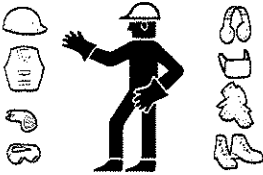
8. 保守・点検	12
8-1 エンジンオイルの交換	12
8-2 ミッション部へのグリースアップ	12
8-3 各部の注油	12
8-4 その他・部品の交換	12
8-5 長期格納時の点検	12
9. メンテナンススケジュール	13


1. 安全作業上の注意事項


1-1 使用上の注意事項


- (1)  **危険** 
- 作業やメンテナンス中、回転部分は危険ですので、回転部分に手足やものを入れたり、触れたりしないでください。
 - 石等の障害物は、サッチングブラシ、板ブラシ等の損傷、飛散物の事故等の原因になるので取り除いてから使用してください。万一、障害物がかみ込んだ場合は、エンジンを停止し、駆動部が完全に停止してから取り除いてください。そして、機械の損傷を確認し、壊れている場合は直ちに修理してください。
 - ベルトカバー等の防護カバーは、使用者の危険を防止するものです。破損の場合は交換し、所定の位置に必ず付けてください。
- (2)  **注意**  高温部の注意
- 運転中および運転停止直後にカバーやマフラーに触れないでください。火傷をする危険があります。


1-2 安全作業について


- (1)  **警告** 安全の為の衣服について
- 安全の為、機械に巻き込まれないきちんとした衣服、作業に適した保護具・メガネ・靴・ヘルメット・手袋等を着用してください。
 - 緊急時への対応として消化器・救急箱等の準備や、連絡手段を確保してください。
- 


- (2)  **警告** こんなときは運転しないでください
- 疲れていときは機械を使用しないでください。もし使用中に疲れた場合は、作業を中断し休憩してください。
 - 病気の人、酒を飲んでいる人、薬物の影響のある人は機械を使用しないでください。視覚や敏しょう性、判断力に影響を及ぼします。
 - 機械操作に不慣れな場合は、取扱方法や安全注意事項をよく理解してから機械を使用してください。また、子供には使わせないでください。

- (3)  **注意** 安全作業について
- スィーパーは、ブラシを回転させる機械で、使用する場所、障害物、芝生の条件等いろいろありますから、使用者は機械の点検整備の徹底をはかり、機械操作の熟練に努め、自己の安全を図ると共に、他人に危害を及ぼさないように、正しく機械を使って安全第一に作業される事をメーカーとして強く要望します。なお、整備上の必要部品は、安全確保の為に、純正部品を使用するようお願いいたします。
 - 作業時は、周囲に人がいないか破損する恐れのない物がないか、プレイヤーが近くにいないか確認して作業してください。打球が飛んできて危険です。
 - 傾斜地、起伏のある場所で操作する場合は特に安全な作業に心がけ、転倒やスリッパの危険がある場所では作業しないでください。

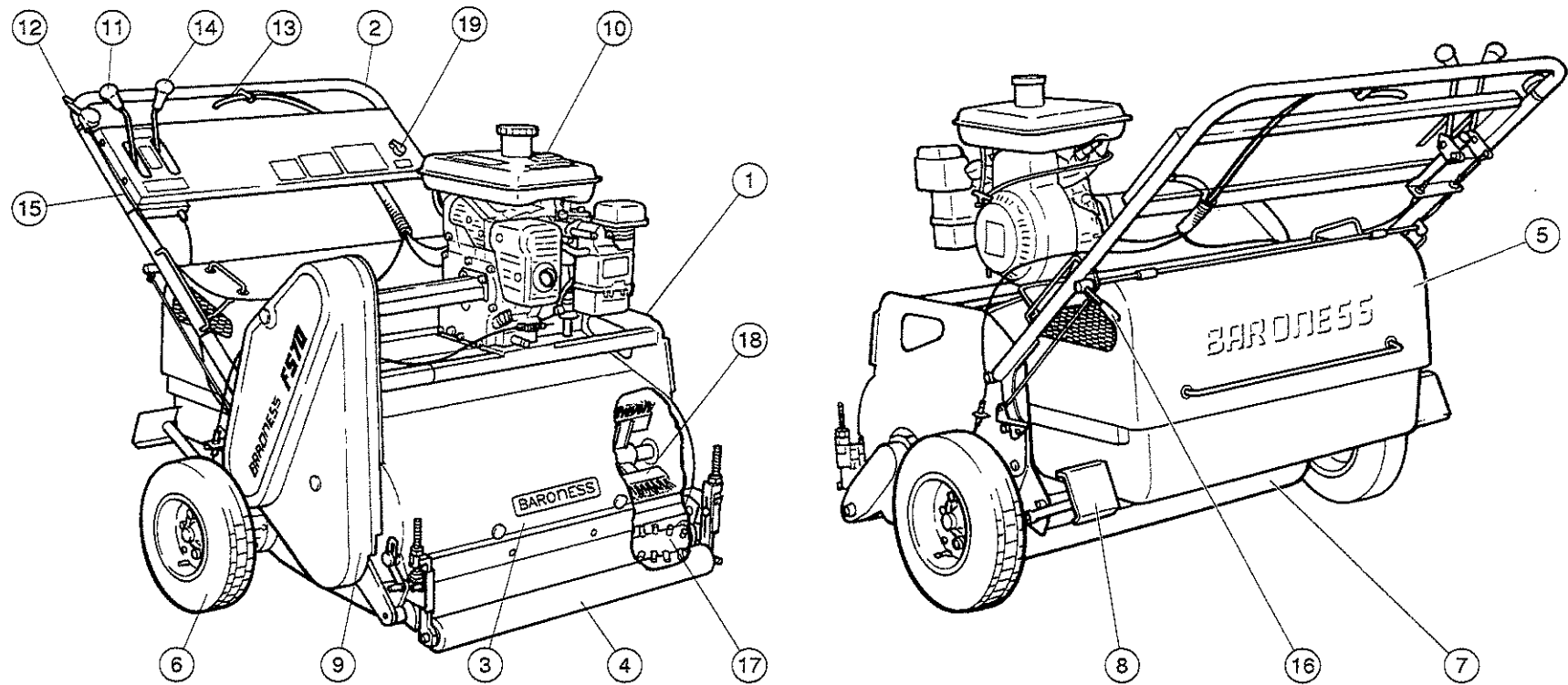
- (4)  **注意** 機械の改造禁止
- 機械の改造はしないでください。
 - 部品及び油脂類を交換するときは、当社が指定するものを使用してください。
 - 機械の改造や、当社指定以外の部品等を取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故を招くことがあります。

- (5)  **警告** マフラー・エンジン回りのごみは取り除く
- エンジン冷却風入口、エアクリーナ空気取入口、マフラー、エキゾストパイプ部にサッチなどの異物がたまりますと、エンジン不調、オーバーヒートなど火災の原因になりますので、すみやかに作業を中断し、過熱部が十分冷めるのを待って取り除いてください。

- (6)  **注意** 機械を他人に貸すとき
- 機械を他人に貸すときは、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からないため、思わぬ事故を起す事があります。取扱方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

- (7)  **警告** 夜間走行・作業の禁止
- 夜間や天候不良など視界の悪いときは作業しないでください。

2. 各部の名称



番号	名 称	番号	名 称	番号	名 称
①	フレーム	②	ハンドル	③	前カバー
④	前ローラー	⑤	バケット	⑥	運搬車輪
⑦	ドラム車輪	⑧	スタンド	⑨	ベルトカバー
⑩	エンジン	⑪	走行クラッチ	⑫	スロットルレバー
⑬	ブレーキレバー	⑭	ブラシクラッチ	⑮	スロットルワイヤー
⑯	ハンドル外シレバー	⑰	サッチングブラシ	⑱	板ブラシ
	エンジンスイッチ				

3. 特長

- ① 4枚羽根回転ブラシとサッチングブラシの相乗効果により松葉、サッチがきれいに拾えます。
- ② デフ付ドラム車輪を採用していますので芝を痛めず、わだちも残りません。
- ③ バケットは樹脂製で軽く、ハンドル折りたたみ方式ですので取り付け、取り外しが容易に行えます。
- ④ サッチングブラシは、中央寄せのスパイラルブラシですので、拾い残しが少なく芝生の矯正もきれいにできます。

4. 仕様

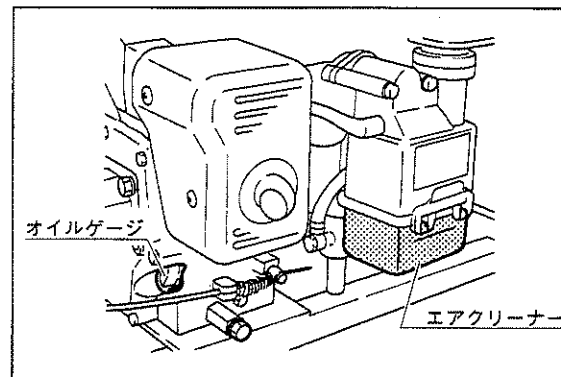
型 式		FS70
機 体 寸 法	全 長	124cm
	全 幅	98cm
	全 高	85cm
	車 輪	4.10/3.50-6
質 量		120kg(作業時)
エ ン ジ ン	型 式	ロビン EH12B
	種 類	空冷4サイクル
	排 気 量	0.121L
	最大出力	2.9kW(4.0PS) / 2000rpm
燃 料		ガソリン
燃料タンク容量		約2.4L
速 さ	移 動 時	7.0km/h
	作 業 時	4.3km/h
作 業 幅		70cm
能 率		3000m ² /h
バケット容量		100L

5. 使用前点検

5-1 エンジンオイルの点検

詳細は、別冊のエンジン取扱説明書を参照してください。

- ・ 点検は、平坦地でエンジンを水平な状態に行います。
- ・ 注油口からオイルゲージをねじこまないで計り、きざみ線までオイルがあるか点検します。もし、不足していたら補給してください。



詳細は、別冊のエンジン取扱説明書を参照してください。

5-2 エアクリナーの点検

- ・ 詳細は、別冊のエンジン取扱説明書を参照してください。
- ・ エアクリナーエレメントの汚れがひどくなると、エンジン始動不良、出力不足、運転に不調をきたすばかりではなく、エンジンの寿命を極端に短くします。



詳細は、別冊のエンジン取扱説明書を参照してください。

5-3



燃料の点検

- ・ 燃料が不足していたら、自動車用無鉛ガソリンを補給してください。タンク容量は、約2.4Lです。
- ・ 燃料は、タンク口金部フィルターのピンクのライン以上入れないでください。（ブラシ高さ調節時等、本機を傾斜させたときに燃料がもれる危険があります）



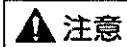
燃料補給

- ・ 火気厳禁です。タバコを吸ったり火花を出したりしないでください。
- ・ 補給は室内及び換気の悪い所では、行わないでください。
- ・ エンジンを停止し、エンジンを冷やしてから行ってください。
- ・ こぼれた燃料はきれいに拭き取ってください。

5-4 タイヤの点検

- ・ 空気圧は、常時一定に保持してください。
タイヤサイズ：4.10/3.50-6
空気圧：120kPa(1.2kg/cm²)

5-5



Vベルトの点検

- ・ ベルトは張りすぎると軸受を傷めたり、軸破損を起こし、また緩すぎるとスリップしてベルトを傷めたり、作業に必要な※なブラシやファンの回転数が得られません。
- ・ いつも適切な張り具合とベルトに亀裂が発生していないか点検してください。

5-6 ワイヤーの点検

- ・ ワイヤーは新しい時ほど伸びが生じ、ブレーキが効かなくなったり、ベルトの張りが緩くなりますので、調節ねじでつねに最適にしてください。

5-7 ボルト・ナット類の点検

- ・ 各部にボルト締めが多く使われております。特に使い初めの頃はボルト・ナット等が緩み脱落する恐れがありますので、時々増締めを行ってください。

適正締めトルクN・m (kgf・cm)

	普通ボルト	調質ボルト
M6	8 (80)	
M8	18 (180)	36 (360)
M10	36 (360)	72 (720)
M12	60 (600)	120 (1200)

6. 操作

6-1 エンジンの始動・停止



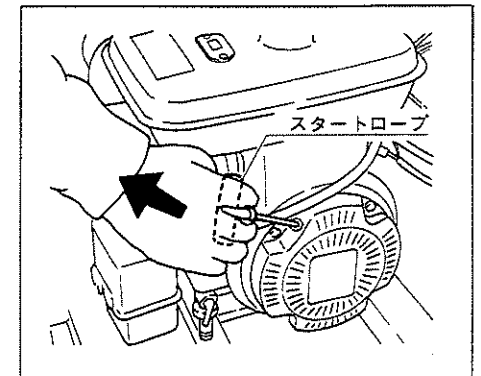
- ・ 室内及び換気の悪い所では、エンジンを始動しないでください。
- ・ 機械の周囲に人や障害物がないか安全を確認してください。
- ・ カバー等の防護部品、防護装置が正しく取付けられているか、損傷していないか確認してください。



- ・ 全てのテンションレバーが [ニュートラル] の位置であるか確認してください。

1) 始動

- ① 燃料コックを開きます。コックは燃料タンクの下側にあります。
- ② スロットルレバーを低速位置より少し高速側へ動かします。



- ③ チョークボタンを引きます。再始動の場合は必要に応じ、半分ぐらい引きます。
- ④ スタートロープを勢いよく引っ張ります。
- ⑤ エンジンが始動したら、チョークボタンをゆっくり戻します。
- ⑥ 1～2分間、負荷をかけずに低速で暖気運転します。
- ⑦ スロットルレバーを徐々に高速側へ移動させます。



詳細は、別冊のエンジン取扱説明書を参照してください。

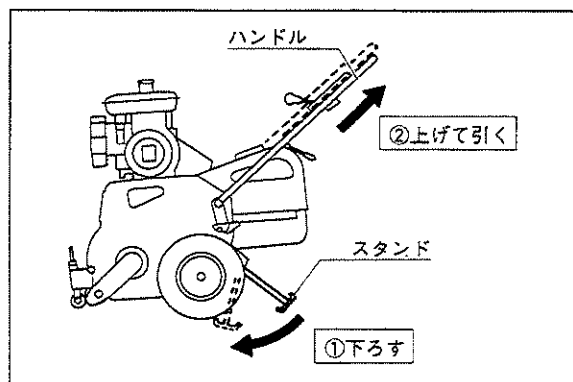
2) 停止

- ① スロットルレバーを低速にし、1～2分間運転します。
- ② エンジンスイッチを切ってください。
- ③ 燃料コックを閉じます。

※設定エンジン回転速度は700～1900rpmです。

6-2 スタンドの立て方

- ① スタンドに足をかけて下ろします。
- ② 腕にハンドルを掛けて、持ち上げながら手前へ引きます。

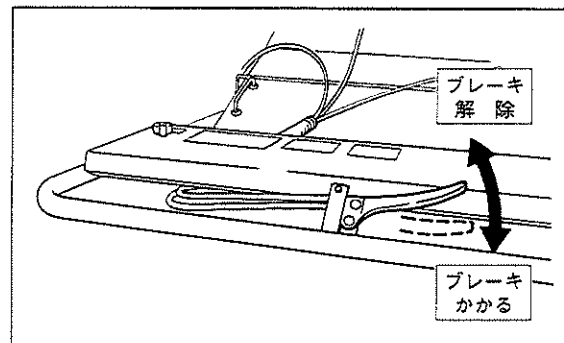


▲ 注意

- ◆ スタンドはバネの力で戻り、足に当たる危険があります。足元に注意してください。

6-3 ブレーキレバーの操作

- ・ ブレーキレバーを握るとブレーキがかかります。



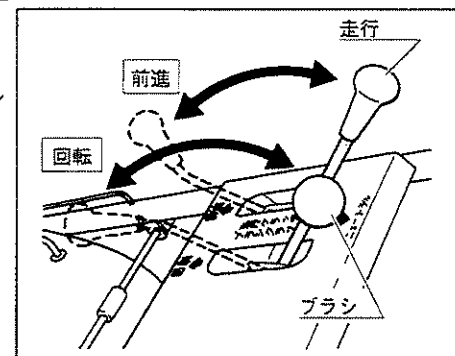
6-4 クラッチレバーの操作

1) 走行

- ・ 走行クラッチレバーを押し [前進] にします。

2) 作業

- ・ ブラシ回転クラッチレバーを押し [回転] にします。



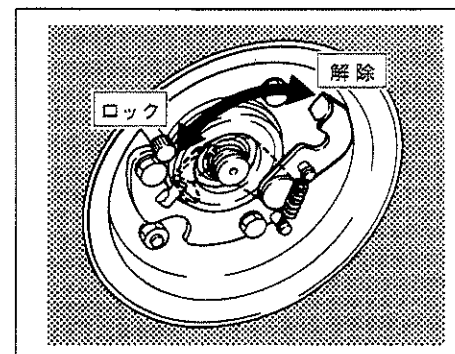
▲ 注意

本機には走行用とブラシ回転用に、それぞれクラッチレバーが付いています。

6-5 車輪の着脱

1) 外し方

- ① スタンドを立てます。
- ② 車輪の内側のレバーを外しながら、車輪を手前へ引き抜きます。



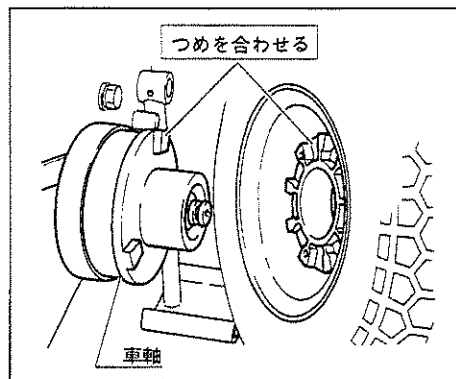
- ③ スタンドに足をかけながら機体を前方へ押し出して、ドラム車輪を接地させます。

注意

- ◆ スタンドはバネの力で戻り、足に当たる危険があります。足元に注意してください。

2) 着け方

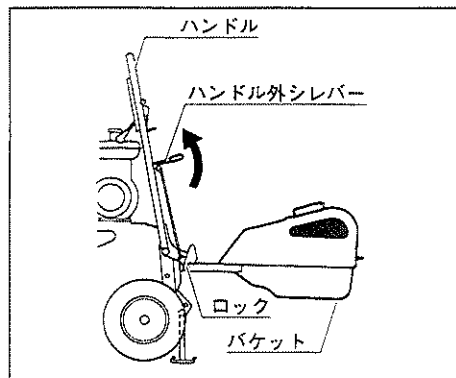
- ① スタンドを立てます。
- ② 車軸と車輪のつめを合わせて取り付けます。
- ③ 車輪の内側のレバーをロックします。



6-6 バケットの着脱

1) 外し方

- ① ハンドル左側のハンドル外シレバーを回し、ハンドルを立てます。
- ② 同時にバケットのロックが外れます。
- ③ 両手でバケットの取っ手をもち、引き出します。
- ④ 塵・サッチを捨てます。



2) 着け方

- ① バケットの横の凸部をフレーム掛け金にのせます。
- ② 前側に押しつけるようにセットします。
- ③ ハンドルを下ろすとハンドルおよびバケットがロックされます。

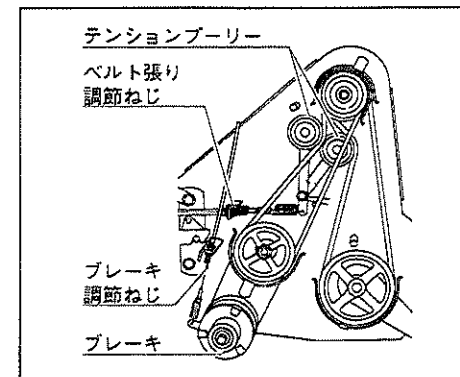
7. 調節および交換

7-1 ベルト張り調節

- ・ ワイヤー両端に付いている調節ねじを緩めてベルトの張り具合を調節してください。

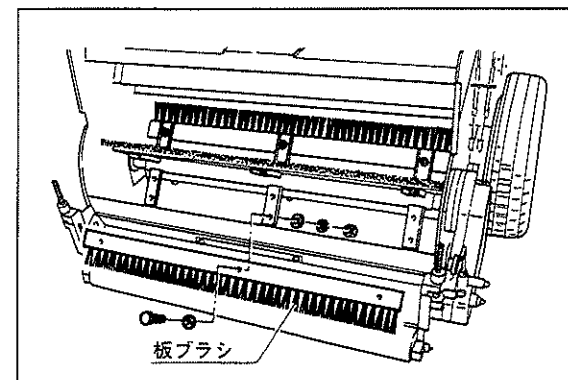
7-2 ブレーキ調節

- ・ ブレーキワイヤーの端に付いている調節ねじを緩めてブレーキの効き具合を調節します。
- ・ 必ず左右の車輪が同時に効くように調節してください。



7-3 板ブラシの交換

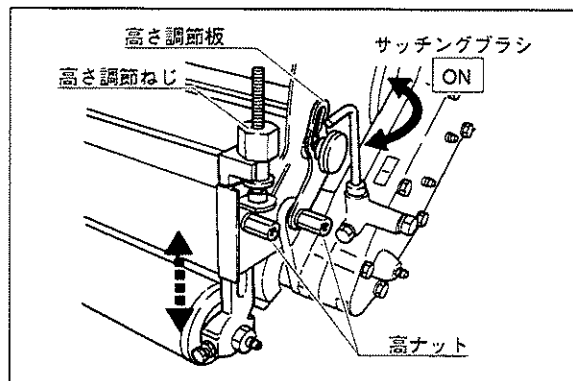
- ① 本体前面に付いている2か所のツマミねじを外して前カバーを取り外します。
- ② ブラシを固定しているボルトを緩めてブラシの先端径が30.4cmになるように調節または交換してください。



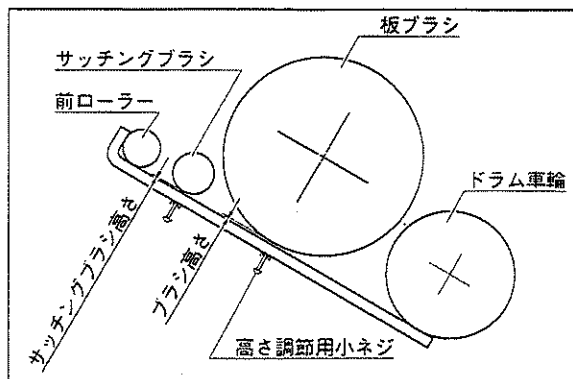
7-4 ブラシの調節

1) 板ブラシの高さ調節

- ① ローラーブラケットの高ナットをゆるめ、高さ調節ねじで前ローラーが上下するようにします。
- ② 高さゲージを希望のブラシ高さにセットします。



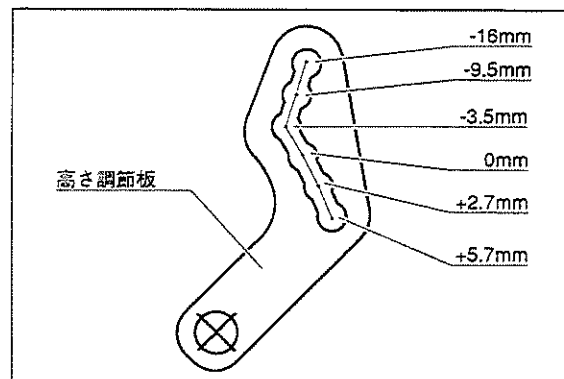
- ③ 図のようにドラム車輪と前ローラーに高さゲージを当てます。



- ④ 前ローラーを上下させブラシの高さを合わせます。
- ⑤ この調節を右左両端で同じように行います。
- ⑥ 高ナットを締め、ローラーブラケットを確実に固定します。

2) サッチングブラシの高さ調節

- ① サッチングブラケットの高ナットとツマミをゆるめ、ブラケットが上下するようにします。
- ② 高さ調節板の穴を希望の高さ調節位置にし、ツマミを締めます。
(下記の数値は、板ブラシが±0の時の参考値です)



- ③ 反対側も調節しますが、必ず右左同じ位置にします。
- ④ 高ナットを締めサッチングブラケットを確実に固定します。

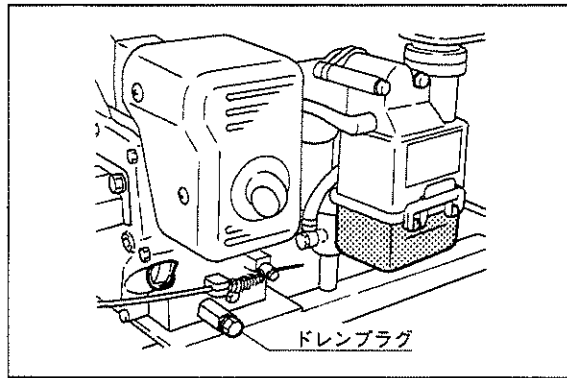
⚠ 注意

- ◆ サッチングブラシは、板ブラシの高さと同じ高さか少し高めにセットしてください。(あまり低くするとブラシの痛みが早くなります)

8. 保守・点検

8-1 エンジンオイルの交換

- ・ エンジンオイルが汚れていたり、不足していたり、品質の悪い物を使用しますとエンジンの寿命を著しく縮めます。
- ・ オイルはエンジンを停止し暖まっている時に、ドレンプラグより抜きます。
- ・ 第1回目は20時間運転後、第2回目以降は50時間運転毎に交換します。オイル量は、約0.8リットルです。
- ・ SAE粘度は、夏期SAE30・冬期SAE20です。



詳細は、エンジン取扱説明書を参照してください。

8-2 ミッション部へのグリースアップ

- ・ ミッション部の潤滑油にはグリースを使用しております。
- ・ 使用300時間または1年毎に全部取り替えてください。

8-3 各部の注油

- ・ レバー関係・ワイヤー・スタンド・ブラシ高さ調節ハンドル・車輪取付部等動きのある所には常に注油を行い、グリースニップルの付いているところへは定期的にグリースアップをしてください。

8-4 その他・部品の交換

- ・ ブラシ・ベルト・ベアリング・各種シール・プラグ・燃料パイプ・プーリー・タイヤ等は定期的に点検整備を行い、随時部品交換してください。

8-5 長期格納時の点検

1) 清掃

- ・ 機体の汚れた部分をきれいに清掃してください。

2) 燃料の抜き取り

- ・ 1ヶ月以上エンジンを使用しない場合は、燃料の変質による始動不良または運転不調にならないように燃料タンクおよび気化器内の燃料を抜き取ってください。

3) エンジン



詳細は、エンジン取扱説明書を参照してください。

4) タイヤ空気圧

- ・ 標準よりやや高めにし、湿気から守るため板の上に乗せてください。

5) 格納場所

- ・ 雨のかからない乾燥した場所で、カバー等をかけてください。

9. メンテナンススケジュール

メンテナンス項目		使用前	10時間毎	20時間毎	50時間毎	300時間毎
エンジン	各部の清掃・締付点検	○				
	燃料の点検補給	○				
	エアクリーナの点検清掃	○				
	エンジンオイルの点検補給	○				
	エンジンオイルの交換			初回	○	
リコイルスターター防塵網点検清掃	○					
本体	各部の清掃・締付点検	○				
	ブラシ高さ点検調整	○				
	各部のグリスアップ・注油		○			
	ミッション部のグリス交換					○
サッチ・ゴミ等の除去	○					

目次《パーツカタログ》

（本機お問い合わせについて）

型式が順次変更になっている場合がありますので、機械の型式と機械番号をあわせてご通知下さるようお願いいたします。

なお、本書記載事項は予告なしに変更することがあります。

（部品注文について）

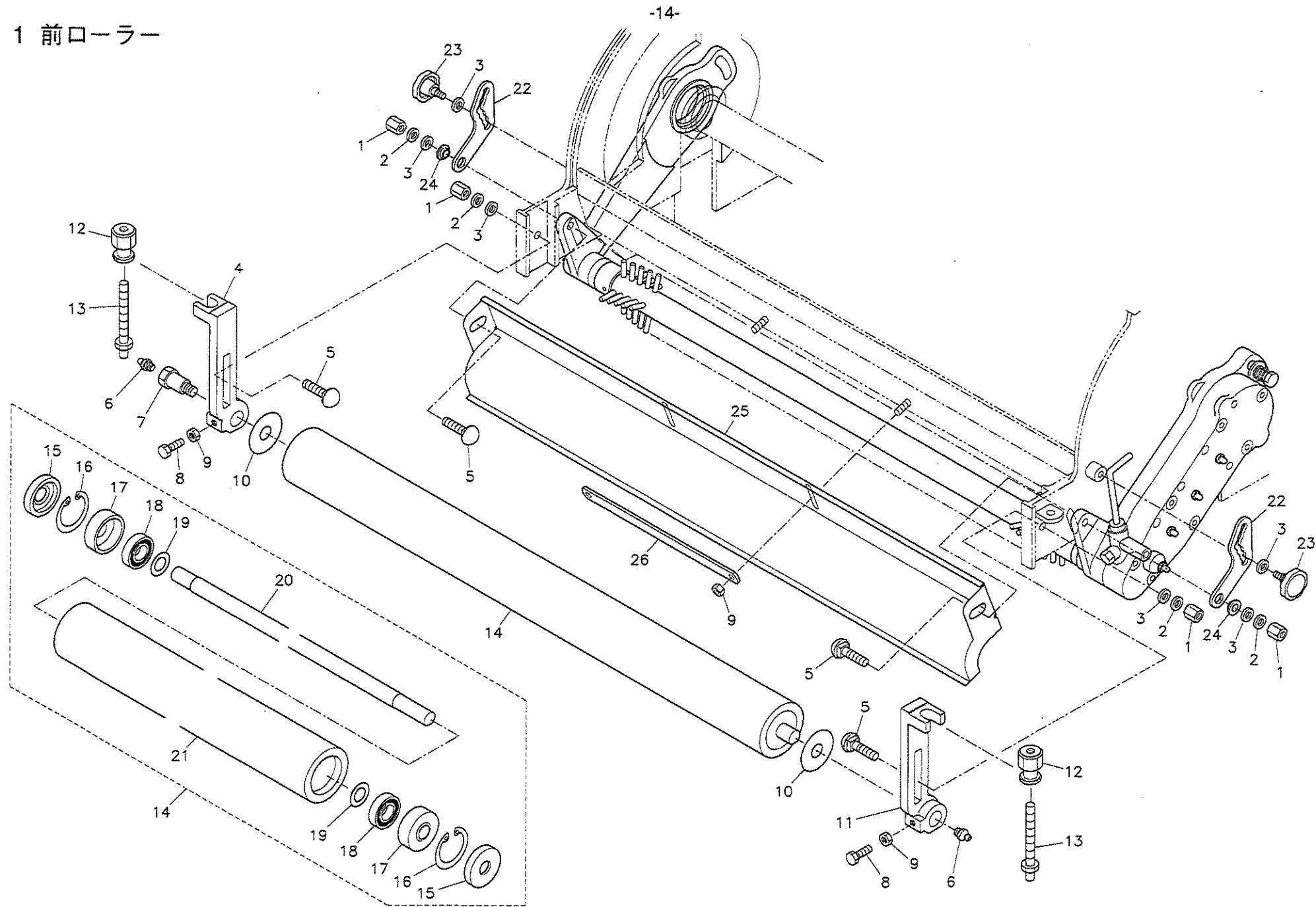
部品は電算機にて管理しておりますが誤送の原因ともなりますので、部品注文の際は必ずカタログ番号・コード番号・部品名称でご注文下さい。

例

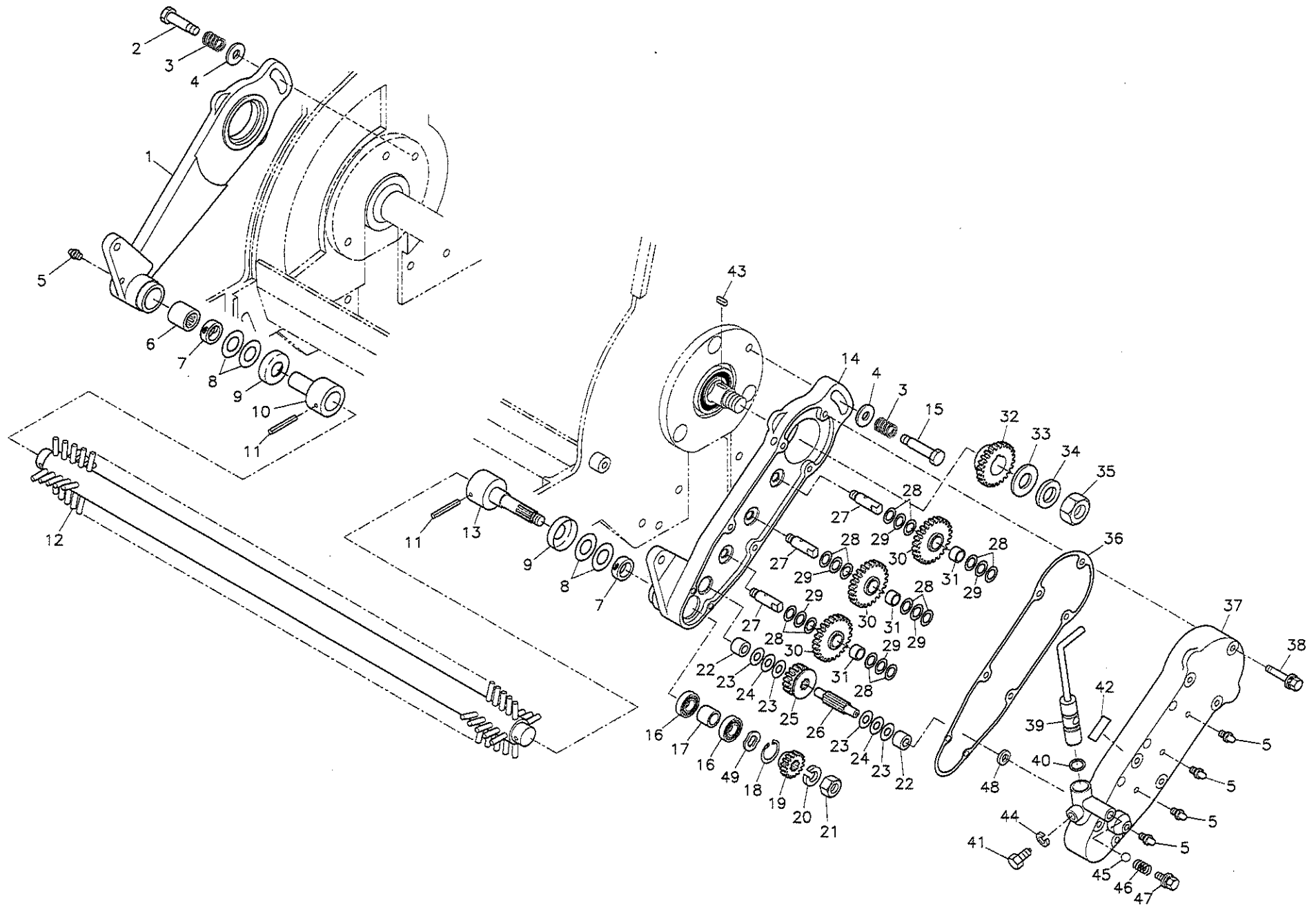
カタログ番号	コード番号	部品名称	個数
6-27	F S 7 0 --- 0 3 0 2 Z 2	走行左ハウジング	1

1.前ローラー	14
2.ギヤケース&サッチ	16
3.フレーム	18
4.ハンドル	20
5.エンジン&テンション	22
6.車輪&ブラシ	24
7.ドラム	26
8.走行ミッション	28
9.バケット&工具	30

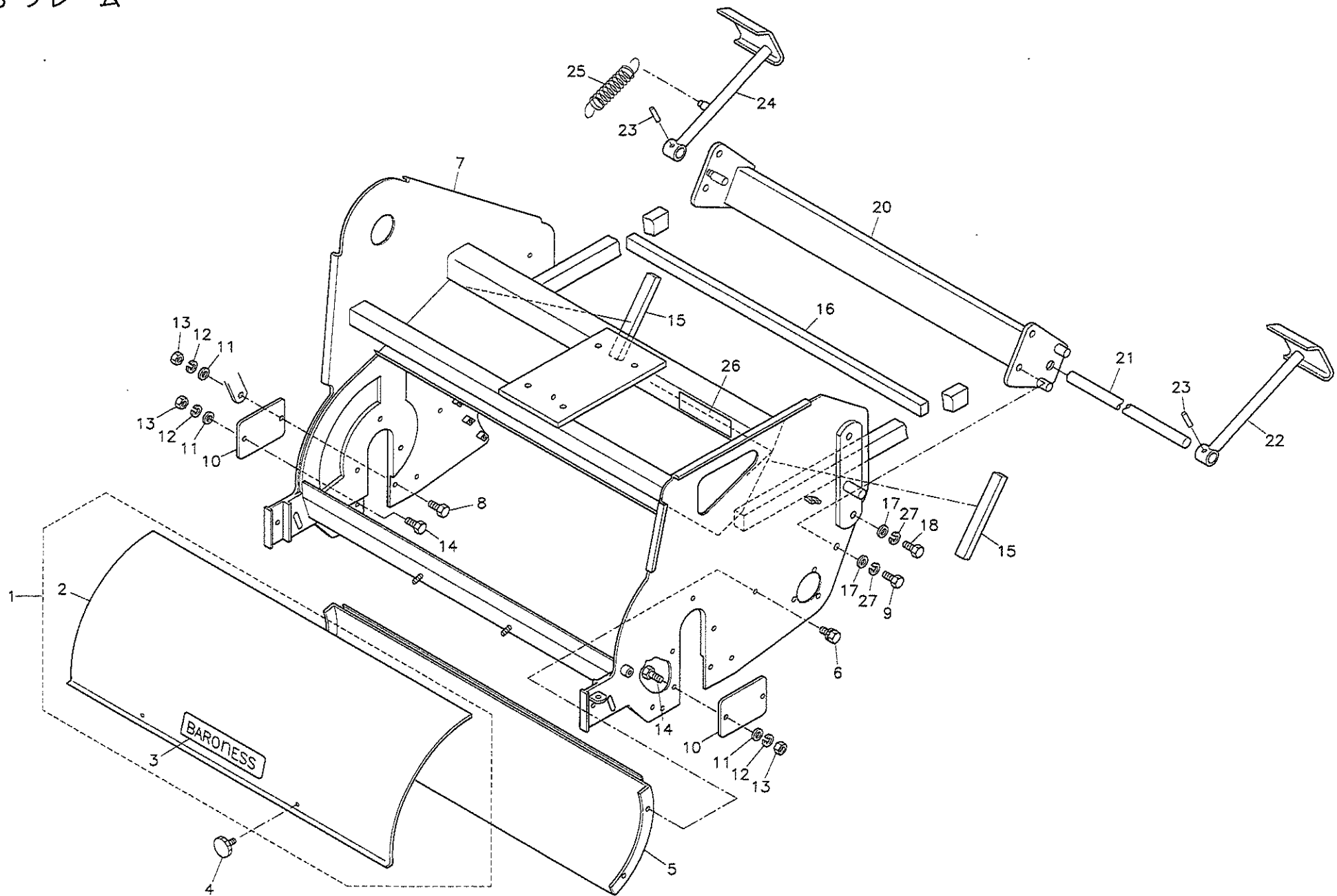
1 前ローラー



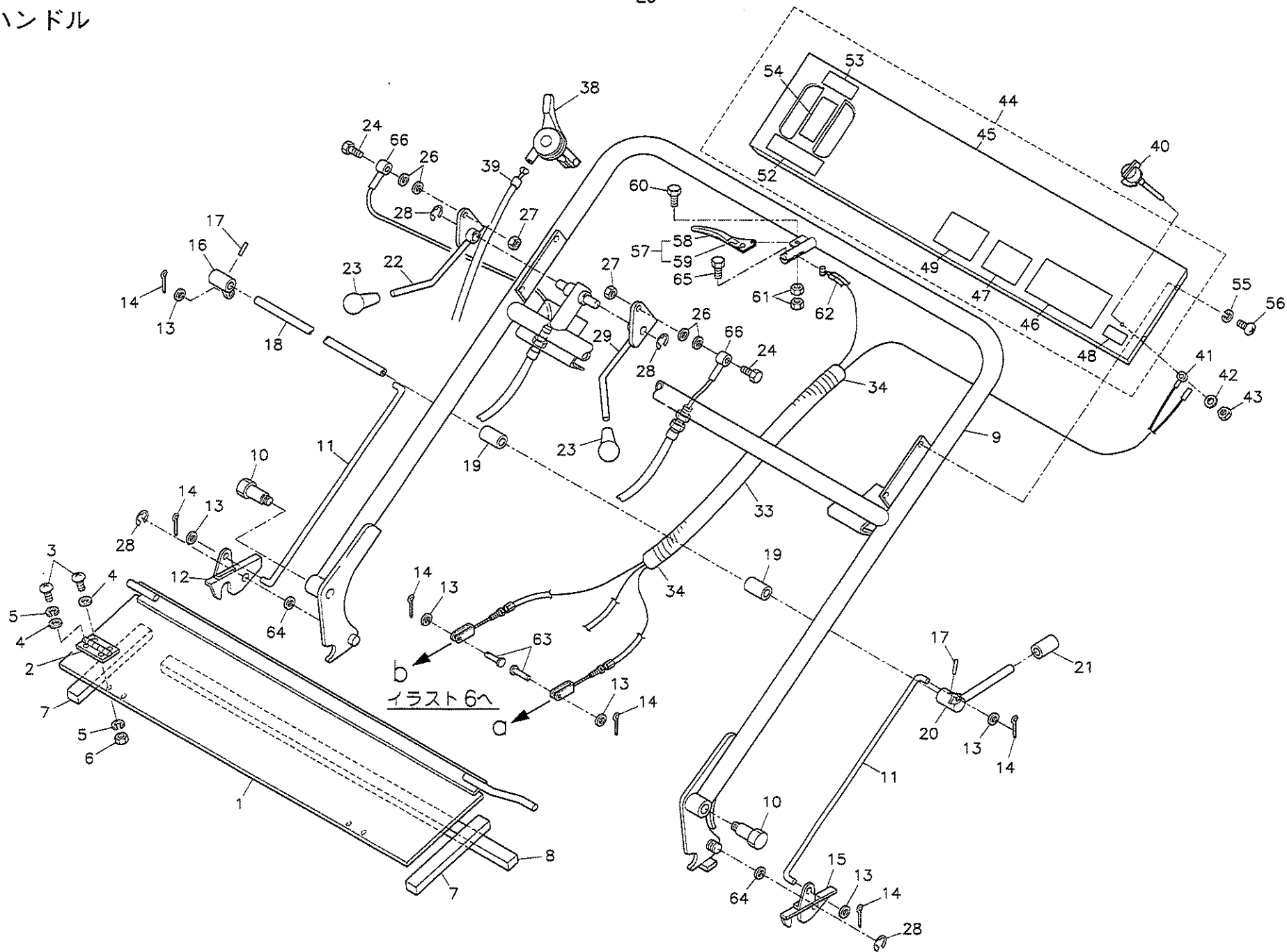
2 ギヤケース&サッチ



3 フレーム



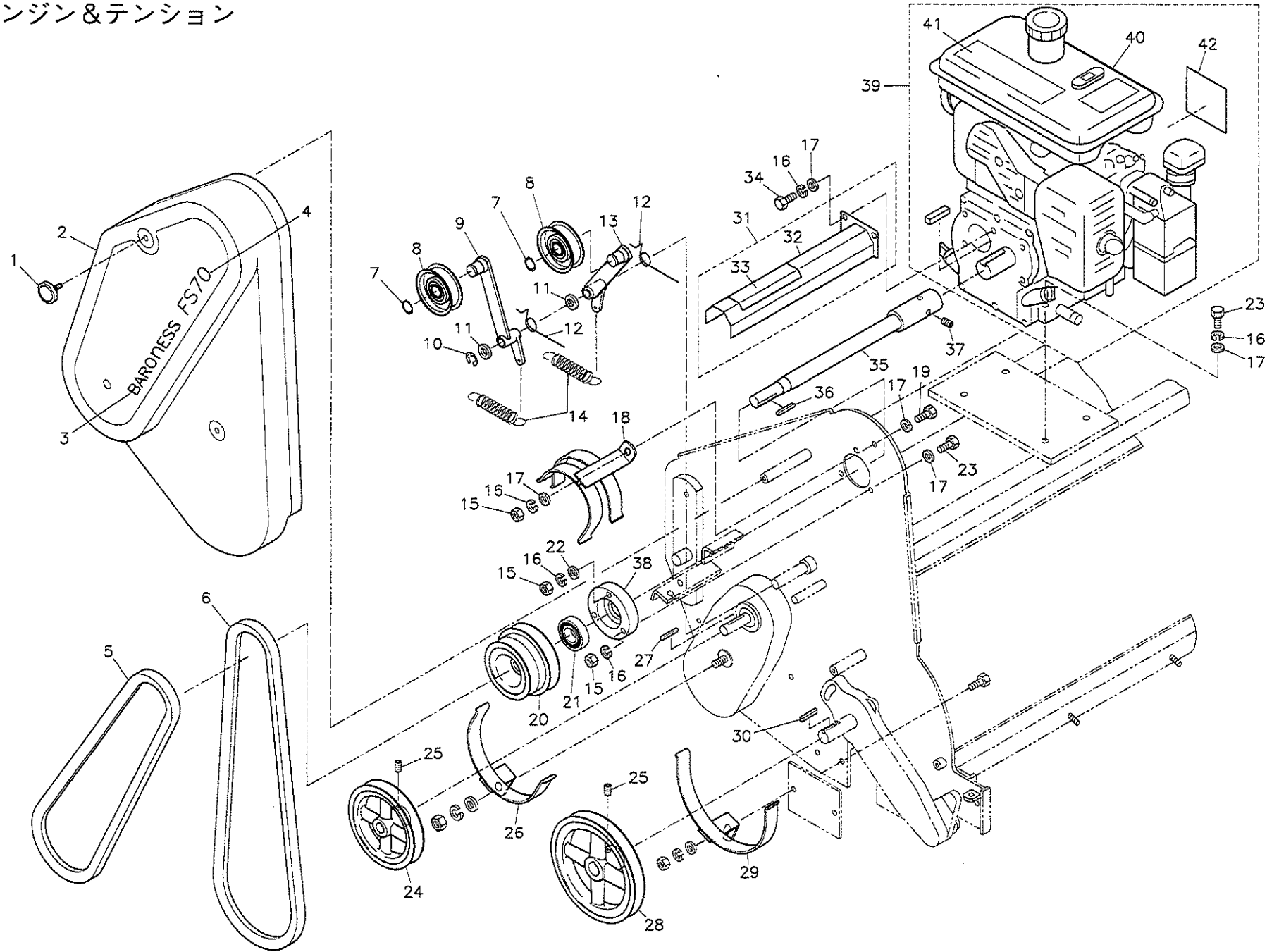
4 ハンドル



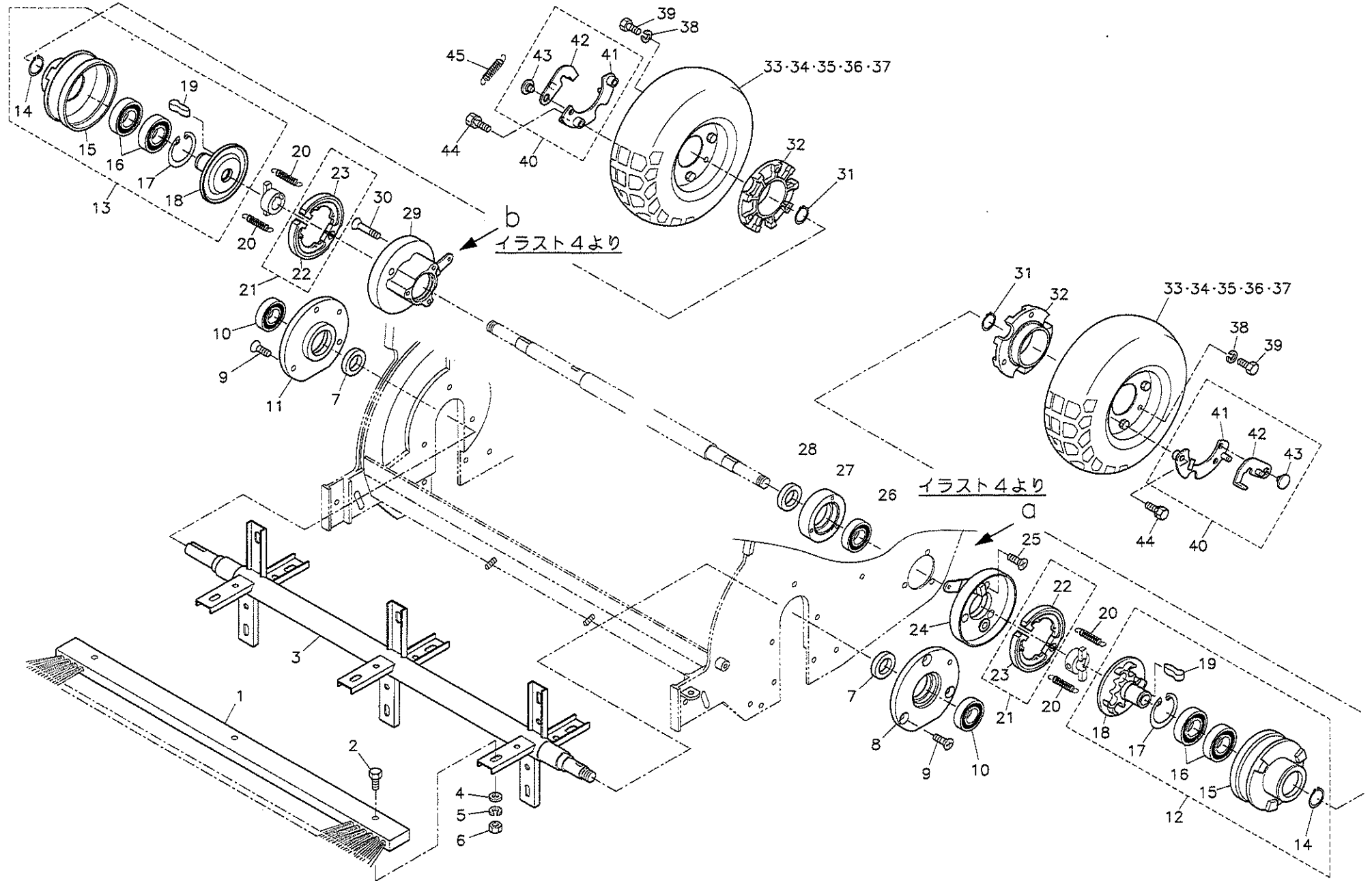
加付 番号	コード番号	部品名称	1基 個数	共用 部品	小売価格
4-1	FS70---0411ZD	バケットフタ	1		
4-2	K4520000112	5.5孔付蝶番51	2		
4-3	K0042050102	5+丸小ねじ10	8		
4-4	K5000050002	5ワッシャー	12		
4-5	K0200050002	5Sワッシャー	8		
4-6	K0100050002	5ナット	4		
4-7	K4220000160	15ウレタンスポンジ20175	2		
4-8	K4220000130	15ウレタンスポンジ15645	1		
4-9	FS70---0401ZD	ハンドル	1		
4-10	FS70---0414Z2	ハンドル締メボルト	2		
4-11	FS70---0412Z2	外シロッド	2		
4-12	FS66B--0405Z2	ハンドル止金右	1		
4-13	K5000060002	6ワッシャー	6		
4-14	K0300020152	2割ピン16	6		
4-15	FS66B--0404Z2	ハンドル止金左	1		
4-16	FS66B--0410Z2	ハンドル外シレバー右	1		
4-17	K0320040201	4スプリングピン20	2		
4-18	FS70---0413Z2	レバーパイプ	1		
4-19	K4031000270	8ストッパーゴム1640	2		
4-20	FS66B--0407Z2	ハンドル外シレバー左	1		
4-21	K1301000090	クラッチレバー握り18	1		
4-22	FS70---0403Z3	走行クラッチレバー	1		
4-23	K1300000040	9握り黒35.5	2		
4-24	K0010060252	6調質ボルト25	2		
4-25					
4-26	K5012306162	2.3SPCC座金616	4		
4-27	K0144060002	6Uナット	2		
4-28	K0400009002	ストップリングE9	4		
4-29	FS70---0402Z3	ブラシクラッチレバー	1		
4-30					

加付 番号	コード番号	部品名称	1基 個数	共用 部品	小売価格
4-33	K3196002500	コルゲートチューブ250	1		
4-34	K4291000000	ビニールテープ黒	10		
4-38	K1203521010	スロットルレバーE352101	1		
4-39	K1110142000	スロットルワイヤー1420	1		
4-40	K3662000050	エンジンスイッチ	1		
4-41	K3620000450	エンジンスイッチ配線800	1		
4-42	K0210080002	8さらばねL	1		
4-43	K0102080002	8ナット3	1		
4-44	FS70---0406Z0	ハンドルカバーCOMP	1		
4-45	FS70---0405ZR	ハンドルカバー	1		
4-46	K4205000630	取扱上の注意	1		
4-47	K4205000650	クラッチ注意事項	1		
4-48	K4203000680	エンジンスイッチマーク	1		
4-49	K4205000870	集草箱注意ラベル	1		
4-52	FS70---0408Z0	クラッチマーク	1		
4-53	FS70---0409Z0	ニュートラルマーク	1		
4-54	FS70---0410Z0	指示マーク	1		
4-55	K0200060002	6Sワッシャー	4		
4-56	K0042060102	6+丸小ねじ10	4		
4-57	K9230000090	ブレーキレバーCOMP	1		
4-58	K1241132014	ブレーキレバーE113201	1		
4-59	K4203000440	ブレーキレバーマーク	1		
4-60	K0071000213	ブレーキボルト	1		
4-61	K0100060002	6ナット	2		
4-62	K1120170000	ブレーキワイヤー1700W	1		
4-63	K6030050123	5平頭ピン12	2		
4-64	K5073210262	3.2SPHC座金1026	2		
4-65	K0006050202	5ボルト20S	1		
4-66	K1140084000	テンションワイヤー840	2		

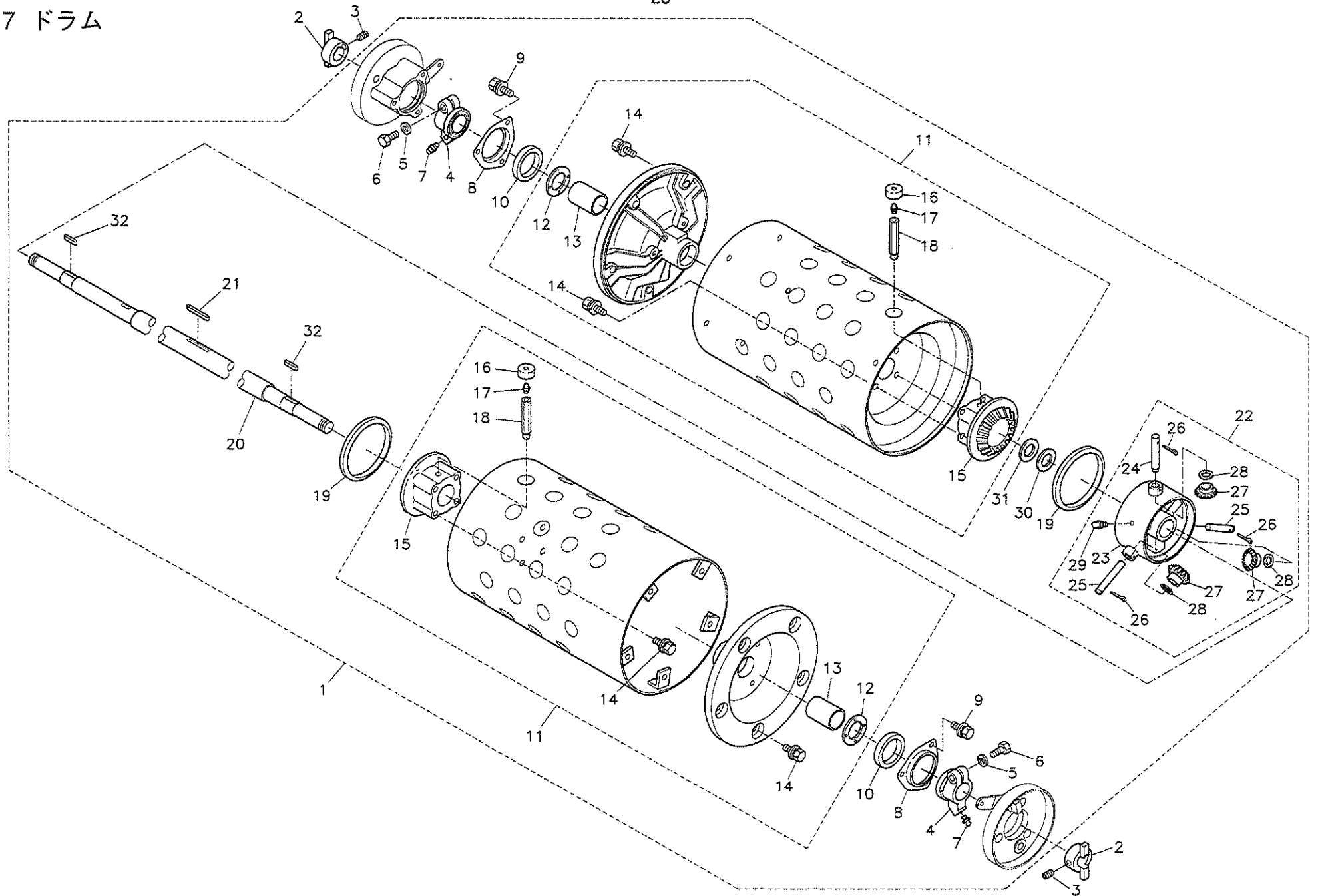
5 エンジン&テンション



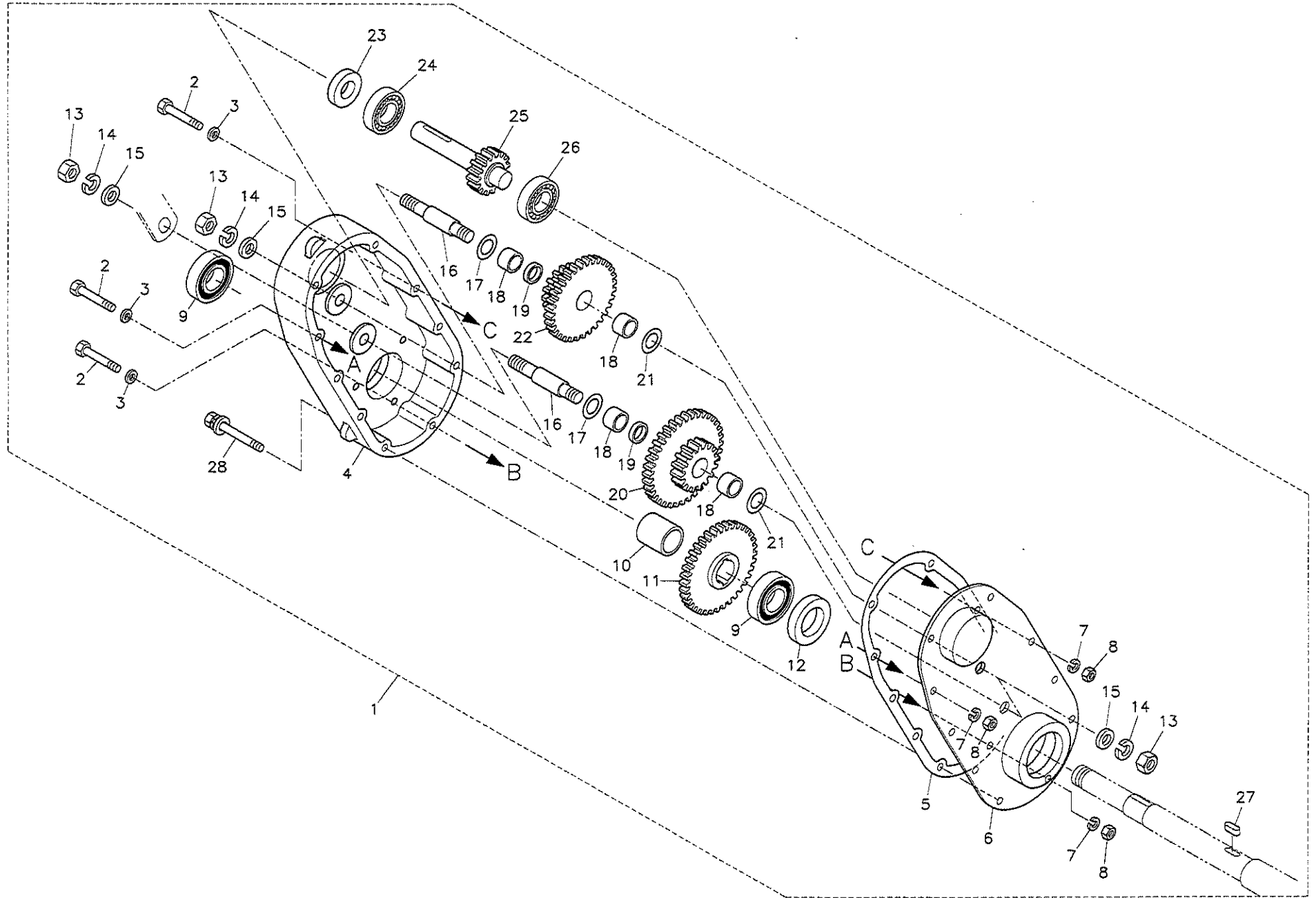
6 車輪&ブラシ



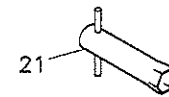
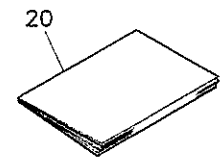
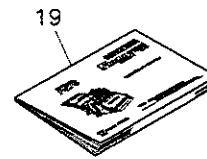
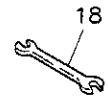
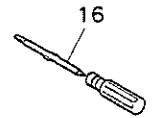
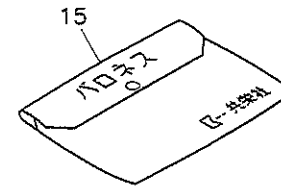
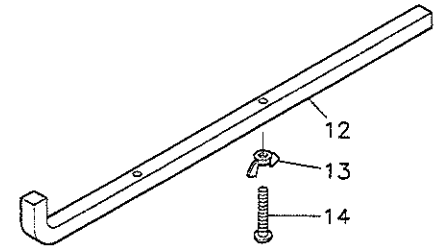
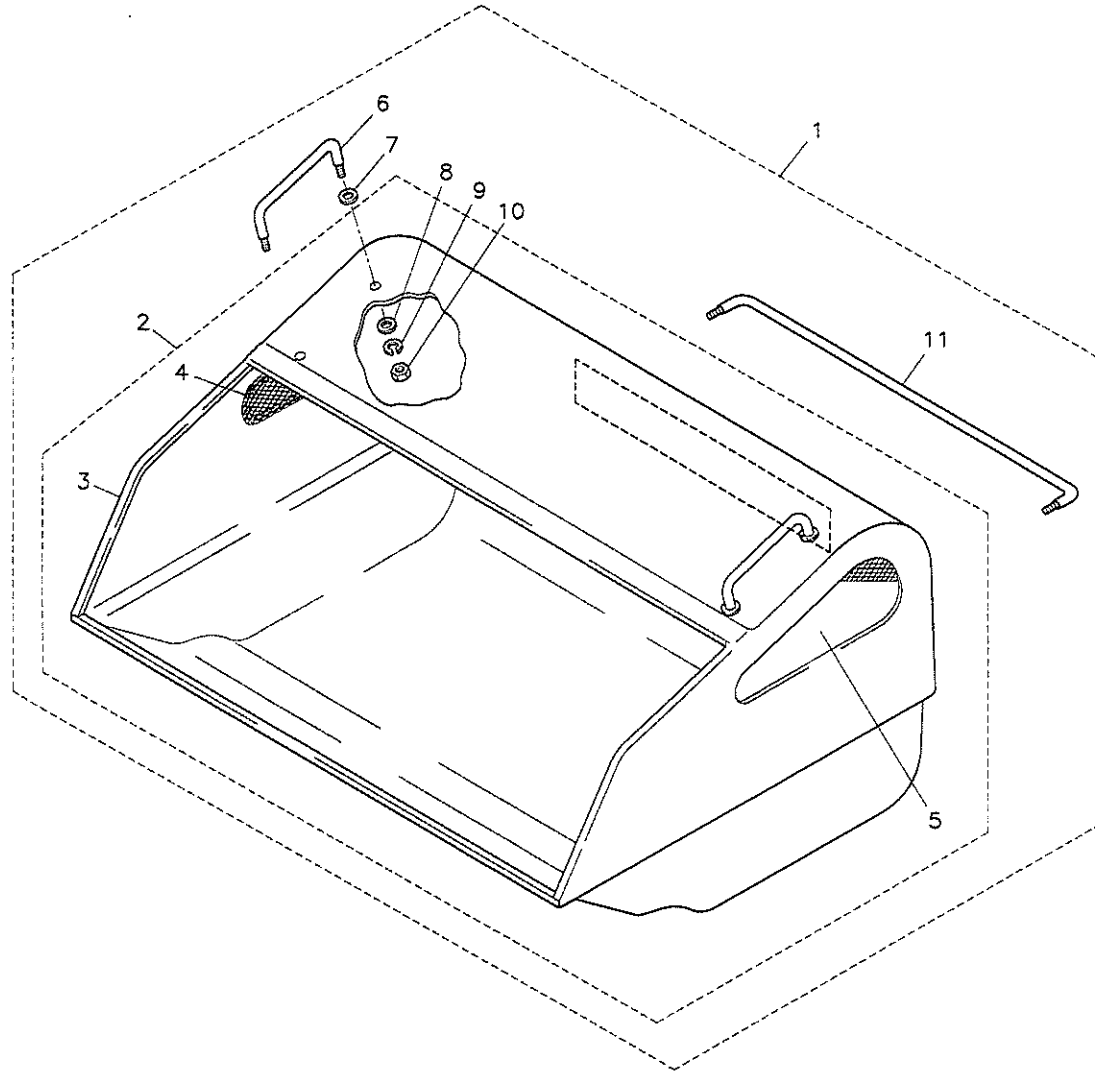
7 ドラム



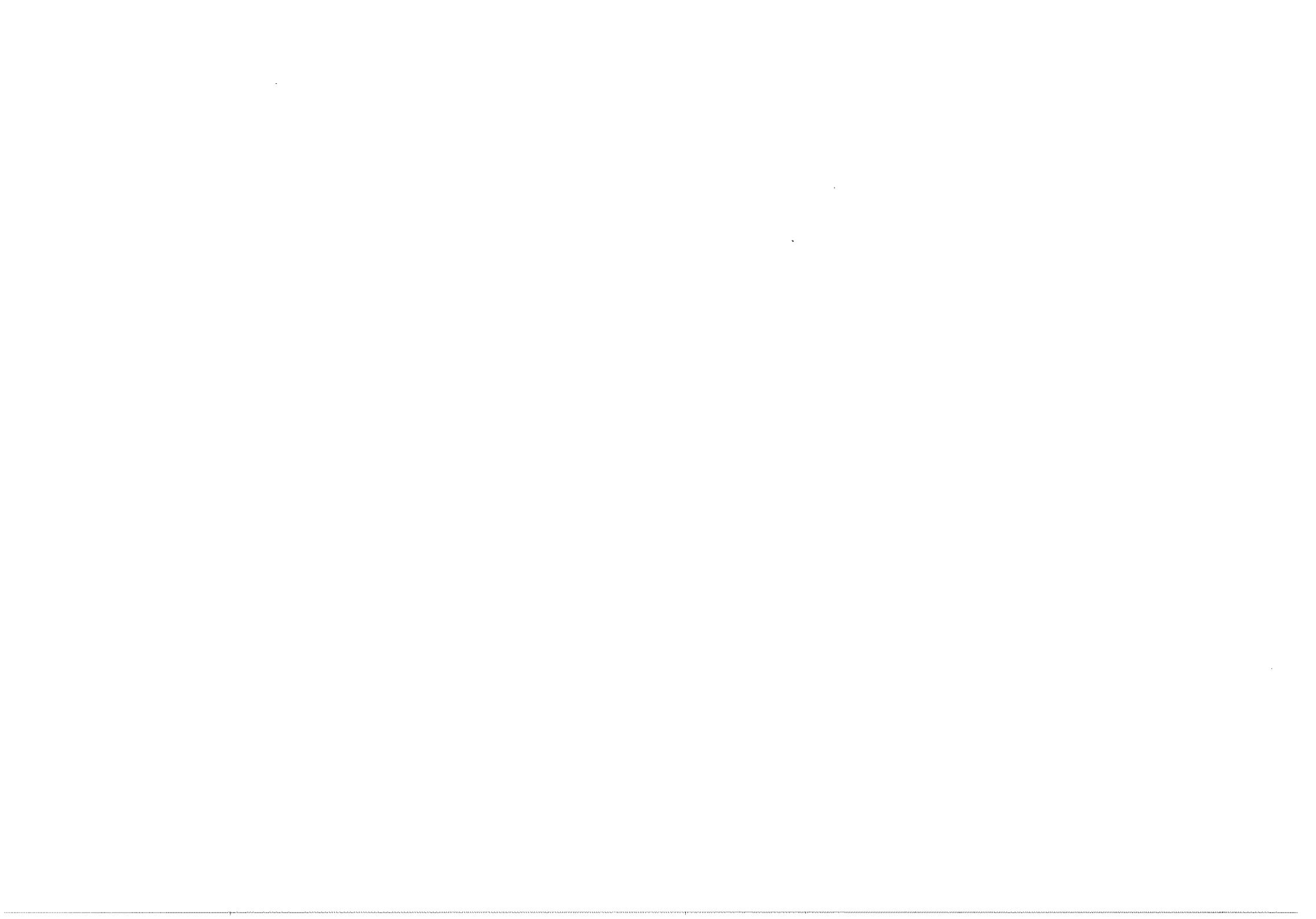
8 走行ミッション



9 バケツ&工具



MEMO





株式会社

共栄社

〒442-8530

愛知県豊川市美幸町1-26

FAX <0533> 84-1220

TEL <0533> 84-1221(代)